

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

2 生活面について

(1) 基本的な生活習慣

○基本的な生活については、就寝・起床時間は概ね規則正しく行っている。

○朝食は9割近く、摂ってから登校している。

○携帯電話やスマートフォン・コンピュータの使い方については、8割強の家庭で約束があり、7割強の生徒が約束をおおむね守っている。

(2) 自己有用感

○「自分に良いところがある」は8割弱の生徒がおおむねあると回答している。

○「先生方が認めてくれる」は8割5分の生徒がおおむね認めてくれると回答している。

○「夢や目標をもっている」は、7割の生徒がおおむねあると回答している。

○「困っている人がいたら進んで助けますか」は、9割弱の生徒がおおむね助けると回答している。

○「困りごとや不安があるとき、先生や学校にいる大人に相談できますか」は、7割弱の生徒がおおむねできると回答している。

○「人の役に立ちたいと思っている」は、9割の生徒がおおむねそう思っていると回答している。

○「学校が楽しい」は、8割強の生徒がおおむねそうであると回答している。

○「地域の行事に参加している」は、4割弱の生徒がおおむね参加していると回答している。

まとめ

基本的な生活習慣については、ご家庭の協力が大きい。今後も全体的に協力体制を継続できると良いと感じる。生徒の自己有用感については、おおむね高いと感じているが、自分の夢や目標をもっているという項目では、全校生徒がそう言えるように、周りの理解や協力が不可欠だと感じる。自己有用感を持てる要因としては、地域との連携も不可欠である。今年度はより地域に出向き、多方面から活動を評価してもらい、さらに自己有用感を高めさせることで、自己肯定感を高めることにつながることを期待している。